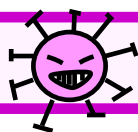


# 感染症に気をつけよう!

2021年【12月号】

横浜市内の感染症



流行状況

12月16日  
発行



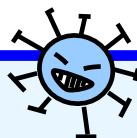
感染症*	流行状況		説明【解説付き既刊号等】 ← クリック
新型コロナウイルス感染症*	発生	横ばい	感染者数は少ない状況ですが、今後、感染が再び拡大する可能性があります。【'21.11号】
梅毒**	発生	横ばい	報告数の比較的多い状況が、継続しています。

国立感染症研究所\*

厚生労働省\*\*

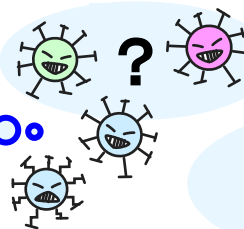
横浜市衛生研究所【感染症情報センター】

今、気をつけたい感染症



新型コロナウイルス感染症

季節性インフルエンザや風邪などと  
新型コロナウイルス感染症は  
症状がよく似ているので...



## ■ …症状だけでは ➡ どちらの感染症なのか分かりませんか？

「筋肉痛があるから、きっとインフルエンザだね。」のような自己判断は止めて、まずはかかりつけ医に相談しましょう。

## ■ 発熱・咳・のどの痛み・全身倦怠感 等で受診の際は ➡ 必ず事前に電話連絡！

皆さんが受診する医療機関では、どちらの場合でも診察できるように準備します。  
(他の症状で受診する患者さんと来院時間を分ける調整、個人防護具の着用など)

## ■ かかりつけ医がない、受診先が分からない場合は ➡ 横浜市の相談窓口

横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター (24時間対応 土日・祝日を含む)  
電話:045-550-5530 FAX:045-846-0500

## ■ 重症、徐々に悪化など急ぎ受診が必要 ➡ 連絡してから救急医療機関を受診

緊急の場合(特に夜間・休日)119番で救急車を依頼してください。



厚生労働省

【新型コロナウイルスに関するQ&A】

横浜市保健所

【新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口】【子ども向けページ(ワクチン接種)】